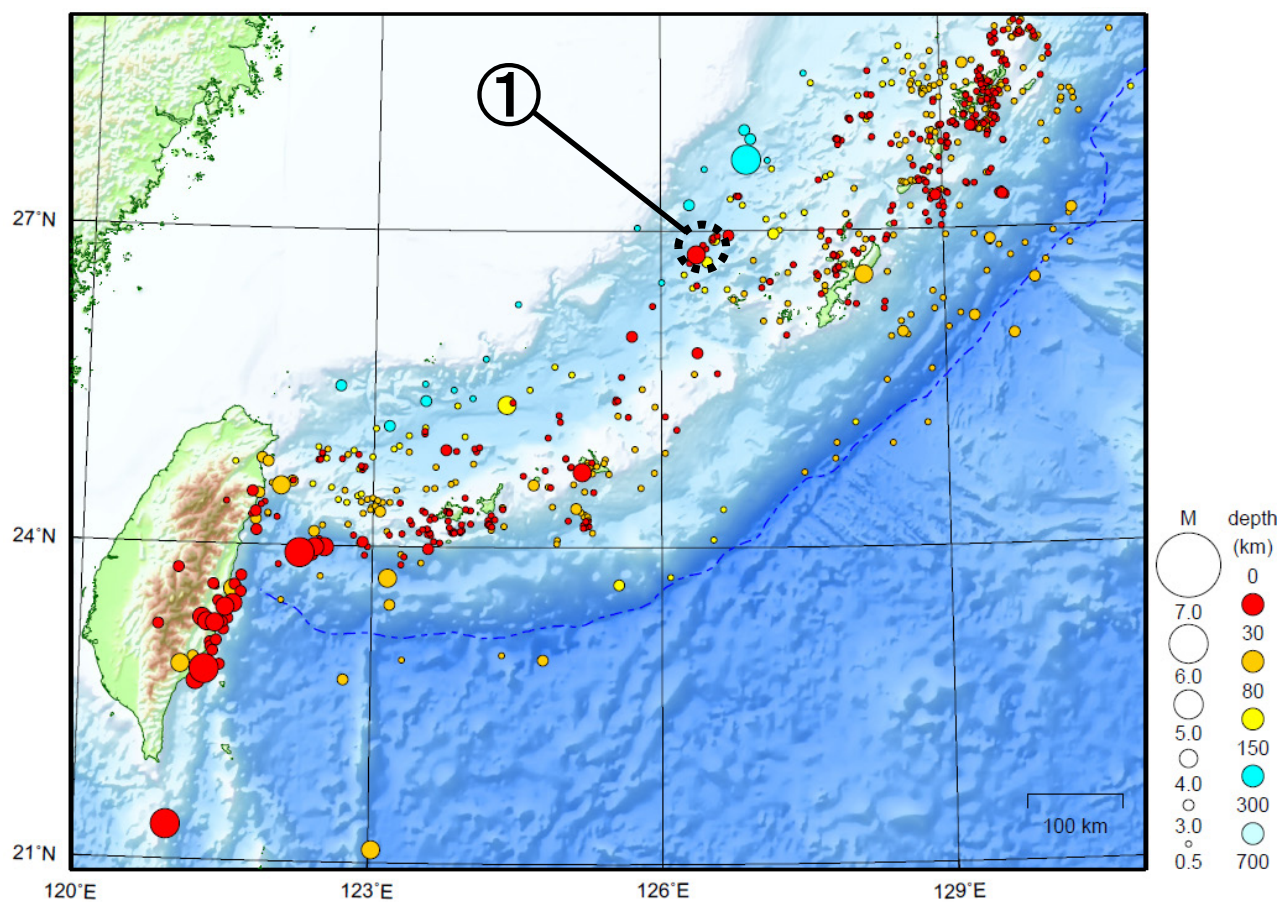


沖縄地方

2022/10/01 00:00 ~ 2022/10/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

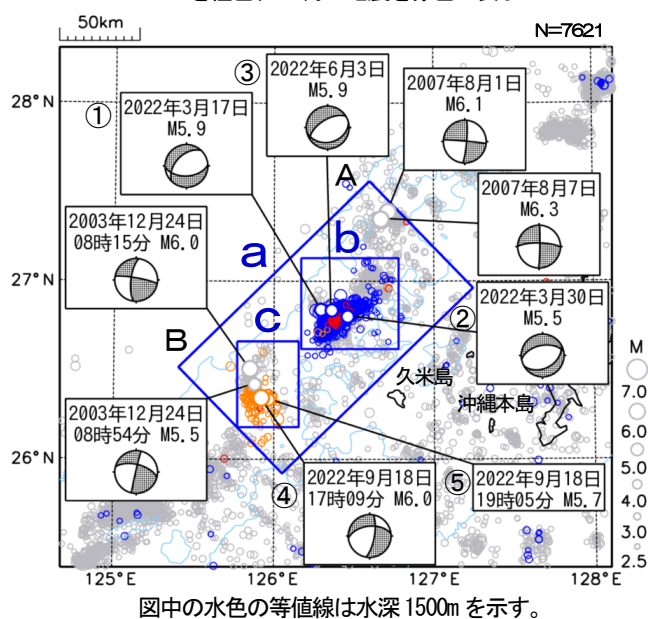
- ① 沖縄本島北西沖（久米島の北西約50km）では10月中に最大震度1以上を観測した地震が2回（震度1：2回）発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

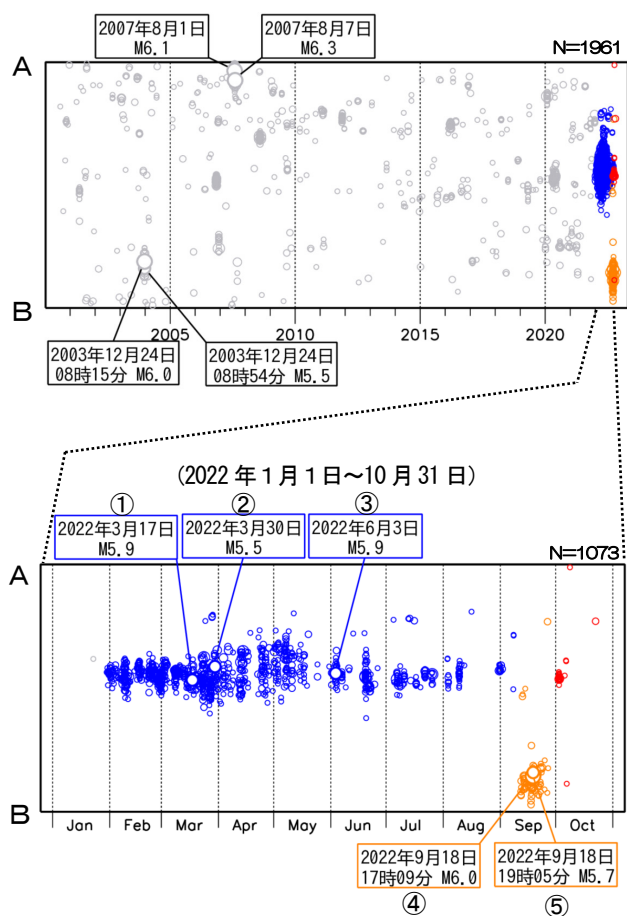
気象庁・文部科学省

沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図
(2000年7月1日～2022年10月31日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)
2022年1月30日以降の地震を青色、9月12日以降の地震
を橙色、10月の地震を赤色で表示



領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



沖縄本島北西沖 (領域a) では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、10月31日までに震度1以上を観測する地震が77回 (震度3: 2回、震度2: 27回、震度1: 48回) 発生した。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

久米島の北西約50km (領域b) では、3月17日及び6月3日には $M5.9$ の地震 (いずれも最大震度2、それぞれ図中①、③)、3月30日には $M5.5$ の地震 (最大震度3、図中②) が発生した。これらの地震の発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。領域bでは1月30日から10月31日までに震度1以上を観測する地震が69回 (震度3: 1回、震度2: 26回、震度1: 42回、このうち10月中は震度1: 2回) 発生している。なお、10月に入り活動は低調になった。

久米島の西約80km (領域c) では、2022年9月18日17時09分に $M6.0$ の地震 (最大震度2、図中④) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。また、領域cでは同日19時05分に $M5.7$ の地震 (最大震度3、図中⑤) が発生した。領域cでは9月12日から地震活動が活発になったが、9月下旬ごろから活動は落ち着いている。9月12日から9月30日までに震度1以上を観測する地震が8回 (震度3: 1回、震度2: 1回、震度1: 6回) 発生した。なお、10月に震度1以上を観測する地震は発生していない。

各領域内のM-T図及び回数積算図
(2022年1月1日～10月31日)

